

社会・援護局

(障害保健福祉部)

福祉の「基盤」と「原点」

社会・援護局では、生活困窮者に対する支援や障害者が地域で安心して暮らすための支援、戦没者遺族などの援護など幅広く社会福祉の推進のための施策を行っています。



Mission

社会・援護局では、生活保護やホームレス対策など、生活に困っている人々への支援という福祉の「原点」となる制度や、社会福祉法人制度の整備、福祉人材の育成、ボランティア活動の推進など、福祉の「基盤」となる制度の整備を通して、個人の自立した生活をサポートすることを目指しています。

また、障害児・障害者に対する障害福祉サービスなどを確保するほか、精神障害者へのアウトリーチ（訪問支援）体制の整備や障害児・障害者への虐待防止に関する取組などを通して総合的な障害者施策を推進することで、障害者が地域社会で安心して暮らすことのできる社会を実現することを目指しています。

さらに、先の大戦による戦没者の遺骨収集帰還等の慰霊追悼事業、戦没者遺族に対する援護年金などの支給や中国残留孤児への帰国後の生活支援、戦中戦後の労苦の後世代への伝承なども重要な役割の一つです。

政策紹介

1

最低限度の生活保障のために

「最後のセーフティネット」である生活保護の受給者数は過去最高を更新し、現在も増加しています。生活保護制度では、最低限度の生活の維持のため、必要な人には生活や医療に関する給付を行うとともに、自らの能力を最大限発揮して安心した暮らしを取り戻すことができるよう、受給者の自立・就労支援の取組を強化しています。

また、離職などにより生活に困窮される方に対して生活保護に至る前の段階から就労・自立のための支援を行う新たな生活困窮者支援制度が平成27年4月に施行される予定であり、地方自治体や民間団体と連携して、生活保護と併せた重層的なセーフティネットの構築に取り組んでいます。いわゆる「貧困の連鎖」を防ぐため、生活困窮家庭の子どもへの学習支援も実施しています。

高齢化の進展に伴う介護ニーズに対応するため、福祉・介護人材の確保が重要な課題となっています。安定的な人材の確保と質の向上に向け、介護事業者や地方自治体と連携して、介護は「価値ある仕事である」という意識を醸成しつつ、新たな人材の参入促進やキャリアアップ支援、処遇の改善などに取り組んでいます。

政策紹介

2

障害福祉サービスと精神保健医療福祉の充実

障害児・障害者の支援施策は、近年めまぐるしく変化しています。平成26年度からは、一部の障害福祉サービスの対象を拡大するなど、障害児・障害者が地域で安心して暮らすことのできるための新たな仕組みが施行されています。また、320万人もの数が存在している精神疾患患者（いわゆる4大疾患（がん、

Keyword 身体障害者補助犬の普及啓発

身体障害者補助犬は、目や耳や手足に障害のある方の生活をお手伝いする、「盲導犬」・「聴導犬」・「介助犬」のことです。法律に基づき認定された犬で、特別な訓練を受けています。障害のある方のパートナーであり、ペットではありません。きちんと訓練され管理も行われているので、社会のマナーも守れますし、清潔です。そのため、国や地方公共団体などが管理する公共施設や公共交通機関、不特定かつ多数の人が利用する民間施設でも受け入れる義務があります。

身体障害者補助犬は身体に障害のある方の自立と社会参加に欠かせません。厚生労働省では、身体障害者補助犬のことをもっと知って、社会の仲間として受け入れていただくために、身体障害者補助犬の普及啓発を行っています。



ユーザーの指示で落とした鍵を渡す介助犬

脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）よりも多い状況）についても、病院を早期退院し、地域で安心して暮らすことのできるための取組を進めています。

さらに、東日本大震災によるPTSD（心的外傷後ストレス障害）の長期化やうつ病の増大などを防ぐための対策が求められており、心のケアや地域精神保健医療を担う人材の確保などにも取り組んでいます。



仮設住宅における心のケアの様子

平成25年度を振り返って

平成25年8月15日
全国戦没者追悼式

平成25年12月5日
「生活保護法の一部を改正する法律」、
「生活困窮者自立支援法」の成立

平成25年12月6日～8日
全国障害者芸術・文化祭やまなし大会

政策紹介

3

戦没者の慰霊追悼と遺族などの援護

戦没者のご遺骨の収集帰還事業に取り組んでいます。また、先の大戦による戦没者を追悼するため、毎年8月15日、政府主催により、天皇后陛下両陛下御臨席の下、全国戦没者追悼式を挙行します。

戦没者の遺族などに対して、国家補償の精神に基づき、援護年金を支給します。さらに、中国残留孤邦人の置かれた特別の事情を踏まえて、老後の生活の安定に必要な生活支援などを行っています。

東京都の九段にある「昭和館」や「しょうけい館」では、戦中・戦後の労苦を後世代に伝えるため、歴史的資料の収集・保存、資料・証言の展示などを行っています。



硫黄島でのご遺骨の収容



全国戦没者追悼式の模様